

これでいいのか？ 2020東京オリンピック・パラリンピック開催計画

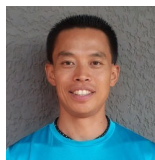
# 障害者スポーツの発展をめざして



## 第4回 提言討論会

《 symposiast 》

障害者スポーツの現状と東京パラリンピックに向けての選手発掘と強化



しおや ふぶき  
塩家 吹雪

AC・KITA代表  
SRC代表

短距離走者として活躍後、全盲スプリンターの伴走者としてパラリンピックなどの国際大会で活躍。現在、日本パラ陸上競技連盟の役員として、若手選手の発掘・育成に力を入れている。

パラリンピックの開催を契機に障がい者スポーツを広めるための協会の役割

たかやま ひろひさ  
高山 浩久

公益社団法人東京都障害者スポーツ協会事業推進部 地域スポーツ振興課長  
公益社団法人日本障がい者スポーツ協会技術委員



障害者のスポーツとアクセシビリティ



いちはし ひろし  
市橋 博

障害者の生活と権利を守る都民連絡会副会長

2011年に制定されたスポーツ基本法は、「スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは、全ての人々の権利」であることを明記するとともに、「スポーツは、障害者が自主的かつ積極的にスポーツを行うことができるよう、障害の種類及び程度に応じ必要な配慮をしつつ推進されなければならない」と定めています。2020年パラリンピックは、同一都市ではじめての複数開催となるもので、1964年大会以後、日本・東京における障害者スポーツがどのように位置づけられ、とり組まれてきたのか、そして、2020年パラリンピックが21世紀の障害者スポーツの発展に寄与するものとなるのか、を考えてみたいと思います。

日時：2015年**5月16日**(土) 13:30～16:00

会場：あうるすぽっと (豊島区立舞台芸術交流センター)3f会議室B  
(東京メトロ 有楽町線 東池袋駅) 6・7出口より直結)

資料代：1000円

問い合わせ：2020オリンピック・パラリンピックを考える都民の会

TEL:03-3981-1345 FAX:03-3981-8315



共同開催

2020 オリンピック・パラリンピックを考える都民の会 (オリパラ都民の会)  
障害者と家族の生活と権利を守る都民連絡会